

夷耶馬・鷺巣岳地域の野鳥

夷耶馬・鷺巣岳地域は奇岩のそそり立つ独特の風景の中に、シイやカシの広葉樹林、スギやヒノキの人工林などの森や林と谷間から流れ出す川やその周辺に水田が広がり、人とのつながりが多い自然環境を形作っています。この人の活動と関係が深い里山の自然にくらす野鳥たちを、生息環境別に見てみましょう。



エナガ

●主に森や林で見られる野鳥

サシバ(夏) オオルリ(夏)
ヤマガラ(留) シジュウカラ(留)
エナガ(留) シロハラ(冬)



カワラヒワ

●主に水田や川などで見られる野鳥

コサギ(留) カワセミ(留)
キセキレイ(留) マガモ(冬)



シジュウカラ

●主に草地で見られる野鳥

ホオジロ(留) ウグイス(留)
ミヤマホオジロ(冬) アオジ(冬)



ホオジロ

●主に人家近くで見られる野鳥

スズメ(留) ツバメ(夏)

●あらゆる場所で見られる野鳥

ハシブトガラス(留)
ハシボソガラス(留)



ジョウビタキ

(留):一年中生息している鳥で留鳥と言います。
(夏):主に夏に生息している鳥で夏鳥と言います。
(冬):主に冬に生息している鳥で冬鳥と言います。

里山の自然環境と野鳥

里山には雑木林や竹林、水田や畑、ため池、小川、ススキの原などがパッチワークのように散らばっています。里山の自然は、野生の自然が農業や林業など人の活動の強い影響を受けながら形作られた自然の形態で、人と野生の動植物の共生関係が成り立っている自然です。

野鳥たちは人と共生しながら、この里山の自然に適応してくらしています。



サシバ

シジュウカラ



森や林の中にすみ、昆虫の幼虫や木の实などを餌にしています。

モズ



主に草地や畑などでバッタやトカゲ、カエルなどを餌にします。

サシバ



夏、日本に渡ってきて、高い木の上などに巣を作り、ヘビやカエルなどを餌にします。

ツバメ



夏、日本に渡ってきて、人家の軒先などに巣を作り、昆虫を餌にします。



スズメ



人家の近くでくらし、昆虫の幼虫や草の実などを餌にします。

ホオジロ



主に草地でくらし、草の実や昆虫の幼虫などを餌にします。

カワセミ



水中にダイビングして、魚をとらえ餌にします。

コサギ



水田や川の浅い所で魚や水生の昆虫、カエルなどを餌にします。